

平成 29 年度第3回霧島市地域公共交通会議 会議要旨

開催日時	平成 30 年 3 月 7 日（水） 13：30～15：00		
開催場所	霧島市役所 別館 4 階 大会議室		
出席委員	山口会長、岩井田委員、諸留委員、加治木委員、福森委員、西委員、二宮委員、有村純太郎委員、中村博人委員、金谷委員、迫田委員、中原委員、有村純徳委員、有村初夫委員、榊氏（久保田委員代理）、傳委員、前田委員、東丸委員、木下委員、西森氏（峰委員代理）、竹下氏（福元委員代理）、平田委員、吉見委員、中村美祿氏（林委員代理）、赤峰委員、藤山委員、宮内委員、内田委員、塩川委員、満留委員、越口委員、茶園氏（島内委員代理）、堀之内委員、花堂委員（計 34 人）		
事務局	西地域政策課長、岡留地域政策グループ長、甲斐地域政策グループ主査（計 3 人）		
委託請負業者	株式会社ケー・シー・エス九州支社（計 2 人）		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
<b>議事</b> 報告第 1 号 霧島市地域公共交通網形成計画推進に係る事業報告 議案第 1 号 国分ふれあいバスの路線の一部変更について 議案第 2 号 国分ふれあいバスの時刻変更について 議案第 3 号 溝辺ふれあいバスの路線及び時刻の一部変更について 報告第 2 号 市街地循環バスの見直しに係る検討結果について			
<b>審議結果等の概要</b> <span style="margin-left: 20px;">○：委員</span> <span style="margin-left: 20px;">●：事務局</span>			
<b>報告第 1 号 霧島市地域公共交通網形成計画推進に係る事業報告</b> →事務局が資料 1 に基づき説明。委員からの質問等はなし。			
<b>議案第 1 号 国分ふれあいバスの路線の一部変更について</b> →事務局が資料 2 に基づき説明。原案のとおり承認。委員からの質問等はなし。			
<b>議案第 2 号 国分ふれあいバスの時刻変更について</b> →事務局が資料 3 に基づき説明。原案のとおり承認。委員からの質問等はなし。			
<b>議案第 3 号 溝辺ふれあいバスの路線及び時刻の一部変更について</b> →事務局が資料 4 に基づき説明。原案のとおり承認。委員からの主な質問等は次のとおり。 ①変更の概要で、旧路線から新路線の変更に伴う新旧時刻表の中で、論地からフラワーホーム、またフラワーホームから論地の間に玉利停留所は必要ないのか。 それともフラワーホーム停留所が玉利停留所に変更となるのか。確認をお願いしたい。 ●本議案が承認された際にはフラワーホームと論地の間に玉利停留所を追加することとなる。 ②国木之房停留所を国道に移設する案になっているが、移設場所は霧島市でも特に渋滞の多い交差点の 1 つである。バス停の移設について警察はどのようにお考えかお聞きしたい。			

園木之房交差点を中心として朝夕の渋滞が発生しているのは事実であり、この移設案であれば、バスレーンの設置が安全かと思う。

会長：事務局で検討し、検討結果は5月の会議で報告をいただきたい。

## **報告第2号** 市街地循環バスの見直しに係る検討結果について

→(株)ケー・シー・エスが「霧島市地域公共交通網形成計画推進支援業務」の結果について報告。事務局が資料5に基づき説明。委員からの主な質問等は次のとおり。

園ワークショップを2回開催したとのことであるが、利用者である住民が公共交通の利用促進について考えるこのようなスタイルのものは、あまり例がなく大変素晴らしい事である。ワークショップ開催後、自家用車から公共交通を利用するようになった等の行動変容をされた方がいるか。

●バスの乗車体験により、バスの魅力を感じ、その後バスを利用するようになったという声がある。参加者に対しての追跡調査までは行っていない。

園今回の見直し案で、内回り、外回りをラッピングされたバスが運行するとすると、利用者の立場から見ても分かり易く、利用しやすくなりよいことだと思う。一方、今回の再編により、医療センターから先の地域（上小鹿野方面）が運行エリアから外れているが、ここまでカバーすることはできないのか。

●今回、お示ししている略図で見ると近く感じるが、実際は距離がある。循環バスという観点からも遠回り感が否めないため外している。もう一度正確に利用実態を把握した上で、別系統でカバーできないか検討したい。

園JRとの接続を考えて駅を拠点としていると思うが、医療センターなどを起点としたルートは検討されたか。

●現在の案は隼人駅を発着としたものであるが、乗降調査から得られた移動特性を再度精査し、現在の利用者に不都合が生じないように設定したい。なお、国分山形屋前を乗り継ぎ拠点として考えているため、国分山形屋前の発着で調整することも視野に入れている。

会長：平成30年度の第1回公共交通会議を5月頃開催する予定であるため、その際に、本日の協議を踏まえた見直しの進捗を示していただきたい。

## **その他**

園高齢者の事故が多発している現状から、免許の自主返納等の対策に取り組んでいるところであり、高齢者が返納後も安心して暮らせるような環境を整備していく必要がある。

警察としても霧島市の高齢者生活支援の相談窓口である地域包括支援センターと検討会を実施し、情報の共有など連携を深め環境整備の取り組みを強化していく。

運転に不安のある高齢者には、支援センターを紹介し、その方にあった支援策をプランニングしていく。また支援センターの窓口でも警察の活動や制度を説明していただき、情報共有を図り連携を強化していく。委員の皆様も趣旨をご理解の上、ご協力を賜りたい。

園免許証自主返納者に対しては、現在14,500円のバス乗車券を配布しているが、今後も継続する予定があるか。

園運転免許の自主返納に関してはバス乗車カードを配布しているが、平成30年度からは、バス事業者の事情もあり、約半分の7,500円分の乗車カードの配布を行う予定である。

㊦ 昨年、福祉有償運送を行っていた1社が事業の廃止届を出されて平成29年9月29日付で受理した。新たな事業者の申し出が無い場合、しばらくの間、福祉有償運送運営協議会は開催しないこととするため、ご報告しておく。

㊦ 鹿児島交通(株)のグループ会社である三州自動車(株)の全事業を、3月末をもって鹿児島交通(株)へ事業譲渡する準備を行っている。事業譲渡以降は鹿児島交通(株)として現在の路線をそのまま維持することになる。

㊦ 近年、霧島市もインバウンドの観光客が増えているが、霧島神宮周辺で商売を行っている方から、霧島神宮から霧島神宮駅へ向かうバスやタクシーが無いということで、外国人観光客からクレームがあるとのことのご意見があった。タクシー事業者もそれぞれの持ち場があると思うが、ニーズの多い時間帯だけでも霧島神宮周辺で待機していただくのは難しいか。

㊦ 霧島地区においてはタクシーの台数が減少しており、観光客にご迷惑をおかけしているという現状は把握している。特定の時間帯に待機ができないかとのことであるが、現状では難しい。宿題とさせていただきたい。

会議資料

【配付資料】

- 霧島市地域公共交通網形成計画推進に係る事業報告【資料1】
- 国分ふれあいバスの路線の一部変更について【資料2】
- 国分ふれあいバスの時刻変更について【資料3】
- 溝辺ふれあいバスの路線及び時刻の一部変更について【資料4】
- 市街地循環バスの見直しに係る検討結果について【資料5】
- 霧島市地域公共交通会議委員名簿
- 霧島市地域公共交通会議設置要領
- 霧島市地域公共交通網形成計画推進支援業務 報告書【別冊】